

令和4年度 学力向上を図るための全体計画

東大和市立第一小学校

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・東京都教育委員会教育目標
- ・東大和市教育委員会教育目標
- ・東大和市学校教育振興基本計画

学校教育目標

◎よく考える子ども
○思いやりのある子ども
○たくましい子ども

- <児童の実態>**
- ・快活で素直
 - ・話すことは好きだが、きちんとした話し方が定着していない。
 - ・自分の考えを表現することが苦手。
 - ・相手の話をしっかり聞くことが苦手。
- <期待される児童像>**
- ・様々な場面で自分の考えをもち、しっかりと話すことができる子
 - ・目標をもって、粘り強く取り組むこと

- <教科指導の重点>**
- ・授業規律の統一、徹底を行う。
 - ・基礎的・基本的な内容の定着を重視し、基礎学力の向上・定着を図るとともに、補足的・発展的な学習を積極的に取り入れ、個に応じた指導の工夫に努める。
 - ・体験的・対話的な学習を意図的に取り入れ、主体的な学習態度や創造力・表現力の基礎を培う。

学力向上に関わる学校経営方針

◎1時間のめあてと評価を明確にした授業を日常的に実践し、児童に学習の基礎・基本を定着させる。

- 1 授業において
 - ・東大和市小中一貫共通プログラムに沿った授業の定着
 - ・問題解決型授業の実践
 - ・1人1台端末の有効活用
 - ・校内OJT、校内研究による授業改善
- 2 個別の対応において
 - ・児童の実態把握
 - ・組織的で具体的な支援策
 - ・保護者や関係機関との連携

- <道徳教育の指導の重点>**
- ・日常生活における様々な体験を通して、児童が自らを律し、考え、判断し、実践する能力を育成し、奉仕する喜びを味わわせる。
 - ・指導計画に基づき、多くの判断場面を経験させたり、心に響く教材を活用したりして、生命の大切さや思いやりの心を培う。
 - ・道徳教育推進教師を中心に道徳の授業を公開し、児童の豊かな心を育てるために保護者、地域

- <総合的な学習の時間の指導の重点>**
- ・各教科・領域との関連を図りながら、児童自ら課題をもちそれを追求・解決できる学習活動の充実に努める。
 - ・郷土博物館等の社会教育施設と連携し、地域の特色ある自然(狭山緑地)・施設を教材化し、体験的・問題解決的な学習に取り組む。

<本校が目指す「確かな学力」>

基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学ぶ力を育成する。

○知識・技能 ○学び方 ○学ぶ意欲
○思考力 ○判断力 ○課題発見能力
○表現力 ○問題解決能力

- ・授業規律、学習ルール統一、徹底
- ・基本的生活習慣、学習習慣の定着
- ・正しい言葉遣い、あいさつの徹底
- ・知識を確実に獲得する仕方、またその生かし方の習得
- ・できる・分かる喜びの感じられる問題解決型授業への転換
- ・認め合い、高め合う学習集団の育成

- <特別活動の指導の重点>**
- ・児童の自主的・実践的活動を重視し、互いに協力し合い、よりよい学校生活や社会生活を築こうとする心と態度を育成する。
 - ・たてわり活動を通じ、豊かな人間関係や連帯意識を育てる。

- <進路指導の重点>**
- ・児童一人一人の個性やよさを生かし、夢や希望をもち、たくましく生きていこうとする態度を育成する。
 - ・キャリア教育の推進を図り、主として学級活動の時間を中心に、児童の実態に応じた生き方指導を行う。
 - ・キャリアパスポートの活用を通して、自分自身を振り返り、自ら課題

- <生活指導の重点>**
- ・「学校のきまり」をもとに基本的生活習慣の徹底を図るとともに、健康安全に対する実践的な態度を育成する。
 - ・「話を聞く」「あいさつをする」「時間を守る」を重点に進める。
 - ・自尊感情を高めるための指導の工夫を図る。
 - ・児童相互および児童と教師とのよりよい人間関係を築くことを通じ、児童

＜本校の授業改善に向けた視点＞					
<p>○基礎学力定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすい板書、学習カードの工夫、ノート指導、授業規律に留意した授業づくりを徹底する。 ・漢字や計算の反復練習を随時行い、基礎学力の定着を図る。 ・1人1台端末をはじめとしたICT機器を効果的に活用する。 ・特別な配慮や支援が必要な場合に、個に応じて適切に対応する。 	<p>○指導内容・指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習や問題解決的な学習を重視する。 ・習熟の程度に応じた課題別学習など、学習形態を工夫する。 ・教員が授業改善を視点として自己評価を行い、授業改善案を考え具体的に実践する。 	<p>○教育課程編成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間、読書月間、読み聞かせを設けるなどの読書活動の充実を図る。 ・昼休み終了後に、読書の時間、言葉の時間を設定し、基礎学力の定着を図る。 	<p>○校内研究・研修の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究では疑問や関心を大切に、共通のめあてをもって問題解決にあたる授業展開を重視する。 ・校内OJTを定期的実施し、学び合いにより各教員の授業改善及び授業力向上を図る。 	<p>○評価活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、評価規準を見直し改善する。 ・指導と評価の一体化により、学びによって子供たちが身に付けた力を適切に評価する。 ・通知表委員会を中心として、校内で共通意識をもって、公平・適正に評価を行う。 	<p>○家庭や地域社会との連携の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開や保護者会、学校便り、学校ホームページ、学年便り等を通じて、保護者や地域の学習や学力に対する関心や意識を向上させる。 ・学年の実態や発達段階に合わせて宿題を出すことを通じて、家庭学習の定着を、保護者へ啓発する。